

長野県天然記念物の指定について

文化財・生涯学習課

文化財保護条例（昭和 50 年長野県条例第 44 号）第 30 条第 1 項の規定により
長野県天然記念物に指定するものとする。

記

長野県天然記念物に指定する文化財

名 称	員数	所 在 地	所有者の住所及び名称
<small>さくらのまる</small> 飯田城 桜丸のイスノキ	1 本	飯田市追手町 2 丁目 678	長野市大字南長野字幅下 692-2 長野県
野尻湖産大型哺乳類 化石群（ナウマンゾウ・ ヤベオオツノジカ・ヘラ ジカ）	88 点	上水内郡信濃町大字 野尻 287-5 野尻湖ナウマンゾウ 博物館	上水内郡信濃町大字柏原 428-2 信濃町

26 文審第 1 号
平成 26 年（2014 年）9 月 5 日

長野県教育委員会 様

長野県文化財保護審議会
会長 井原 今朝男



長野県天然記念物の指定について（答申）

平成 26 年 1 月 27 日付け 25 教文第 630 号で諮問のありましたことについて、下記のとおり長野県天然記念物に指定することが適当である旨答申します。

記

長野県天然記念物に指定する文化財

名 称	員数	所 在 地	所有者の住所及び名称
飯田城 <small>さくらのまる</small> 桜丸のイスノ キ	1 本	飯田市追手町 2 丁目 678	長野市大字南長野字幅下 692-2 長野県
野尻湖産大型哺乳類 化石群（ナウマンゾウ・ ヤベオオツノジカ・ヘラ ジカ）	88 点	上水内郡信濃町大字 野尻 287-5 野尻湖ナウマンゾウ 博物館	上水内郡信濃町大字柏原 428-2 信濃町

長野県名勝天然記念物候補物件調査票

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 1 種 別 | 天然記念物 |
| 2 名 称 | 飯田城 ^{さくらのまる} 桜丸のイスノキ |
| 3 所在地 | 飯田市追手町2丁目 678 |
| 4 所有者の氏名 | 長野県 |
| 5 管理者の氏名 | 所有者に同じ |
| 6 現 状 | |

(1) 生育地

候補物件は、飯田城跡の一角「桜丸」にある。ここは、脇坂氏時代に初代安元が2代安政を養子に迎えるために御殿を建てた曲輪で、安元が多く桜を植えたことから「桜丸」と名付けられたと言われている。続く堀氏の治世下では若殿や隠居の御殿として使われ、1855年（安政2）の大地震で本丸御殿が大破した後は藩主が政務を執った。残されている城絵図や指図などから「桜丸」の性格を検討すると、指図の一点（明治元～4年頃成立）に、イスノキのある空間（庭園と推定される）に面して縁を巡らせた「御座之間」があるばかりでなく、この空間に台形平面の「御茶屋」や「青霞楼」と呼ばれる独立建物が描かれている。他にも桜丸内に寄棟造り二層の楼阁状の建物を描いている絵図があることや、「桜丸」の南東側の堀が「御亭堀」と呼ばれていることから、「桜丸」が藩主や一門の個人的で非公式な生活の場としても利用された側面があることがうかがえる。「青霞楼」から「御茶屋」にかけてのスペースは、そのような場の庭園であったと推定される。現存する「堀家蔵書」（飯田市立図書館蔵）に残る典籍から、茶道や茶道具、さらには造園に対する関心の深さが浮かび上がる。

(2) 生育状態

当該樹は、すっきり伸びた単幹の樹姿で、見た目ではそれほど太さを感じさせないが、目通り周は約2.3mに及ぶ。樹高は約12mで樹冠もよく繁り、樹勢の良い堂々とした木である。自生の北限を越えた高冷地の長野県において、このような巨木が今日まで伝えられてきたのは、飯田城内において大切にされたばかりでなく、近代以降も地域の人々によって大切に守られてきたことを示しており、当該樹は城下町飯田の歴史と文化を象徴する樹木の一つと言える。

(3) 保存の経緯

候補物件は、長野県が所有する飯田合同庁舎の敷地内にあり、昭和46年3月15日飯田市天然記念物に指定され、稀有な巨木として大切に保護管理されてきた。

7 指定理由および根拠

(1) 指定基準

長野県宝等の指定等に関する規定

第8 長野県天然記念物の指定基準

(1) 植物 ウ 植物分布の限界地、 キ 大木、名木、奇形木等

(2) 指定理由

イスノキ (*Distylium racemosum*) はマンサク科に属する暖地性の常緑高木で、樹皮は灰白色、葉は長楕円形で厚く、互生する。伊豆以西・東海・山陽・四国・九州・琉球列島に分布し、長野県内での自生は知られていない。

イスノキは葉に生ずる虫こぶが染料に用いられるほか、堅くて重い材は床・柱・机・櫛・そろばん玉などに、^{いすばい}柞炭は陶磁器の釉薬にと多用途に用いられ、人との結びつきが強い樹木である。また、庭園の植栽樹として利用され、近世の大名庭園や御所などに植えられている。

茶道との関係では、京都にある表千家の不審菴庭園や裏千家の今日庵庭園にも植えられている。

当該樹は、自生地^{いすばい}の北限を越えた地で人の手によって大切に守られてきた樹木であると同時に、高冷地におけるイスノキとしても注目すべき巨樹であり、わが県における植栽植物を考える上で重要な個体である。また、その背景には飯田城における造園の歴史の存在がうかがわれ、人と樹木の関わりを物語る事例としても貴重である。

以上のことから、当該樹木は長野県天然記念物の指定基準(1)植物 ウ 植物分布の限界地、 キ 大木、名木、奇形木等、にふさわしいものと考えられる。

(3) 保存の要件

候補物件は、飯田城における造園の歴史を知り、人と樹木の関わりを物語る樹木であることから、周辺の環境の整備に努めて、文化財としての価値を高め、多くの人々に親しまれる天然記念物として活用することが望まれる。

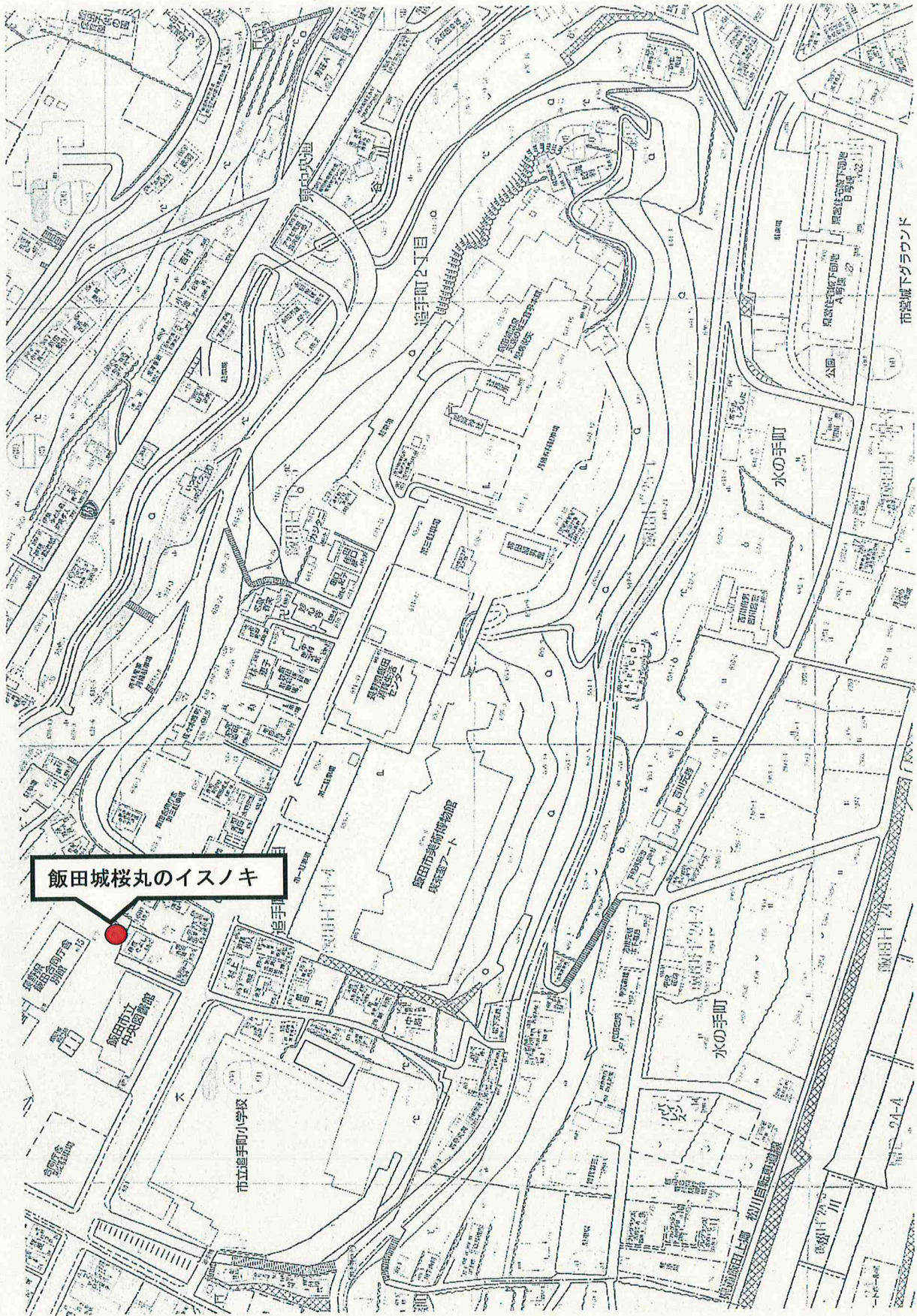
8 調査年月日 平成 22 年 11 月 9 日

9 調査者氏名 亀山 章、遠藤公洋

10 調査票作成年月日 平成 26 年 8 月 10 日

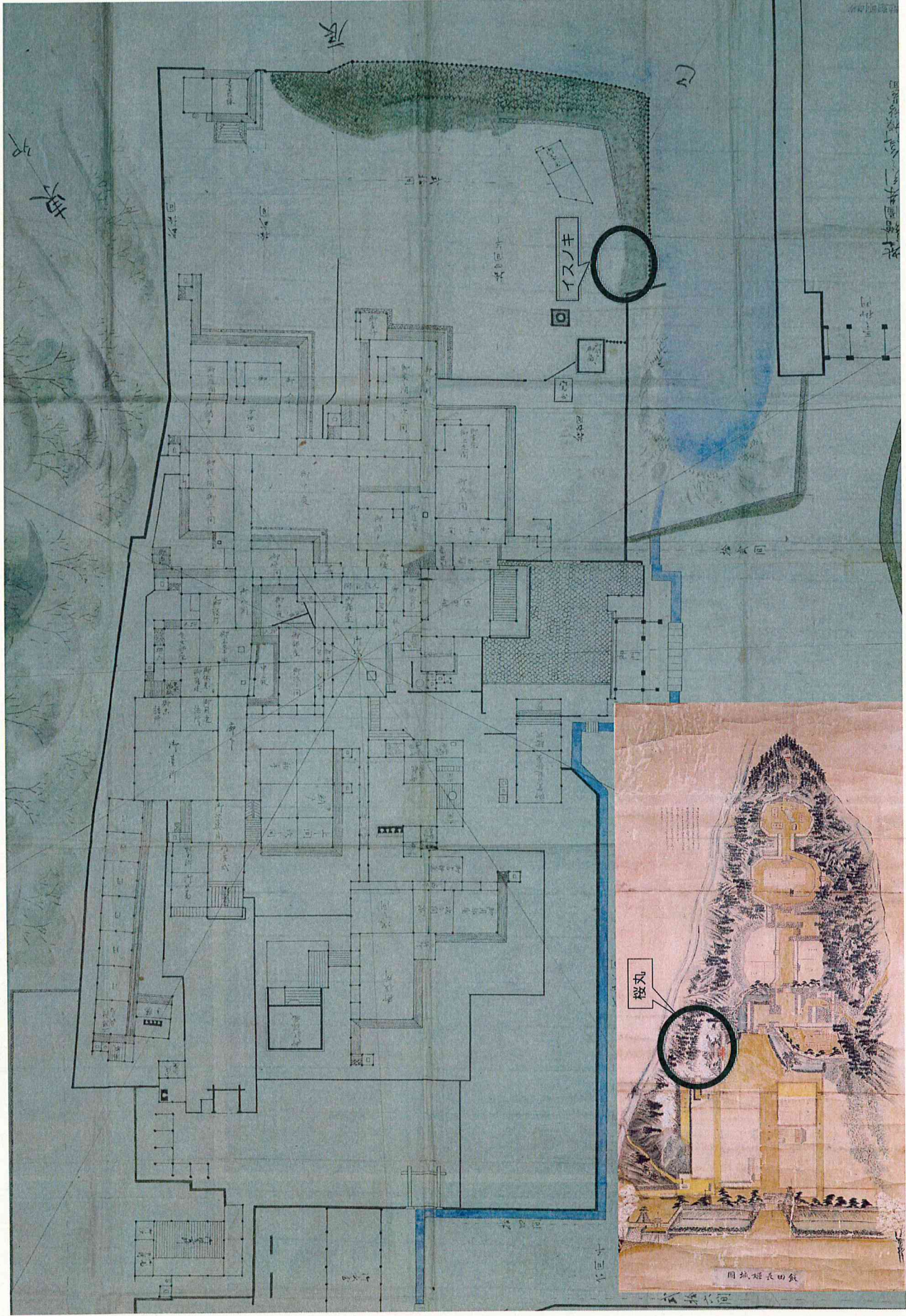


(飯田市教育委員会撮影)



飯田城桜丸のイスノキ

飯田市 「桜丸の蚊母樹」 詳細位置図



指図 (明治5年) ○は「イスノキ」の推定位置

城絵図 (左下) ○は「桜丸」の推定位置

長野県天然記念物候補物件調査票

- 1 種別 天然記念物
- 2 名称 野尻湖産大型哺乳類化石群（ナウマンゾウ・ヤベオオツノジカ・ヘラジカ）
88点
- 3 保管場所 長野県上水内郡信濃町大字野尻 287-5 野尻湖ナウマンゾウ博物館
- 4 採集場所 長野県上水内郡信濃町大字野尻 野尻湖西岸一帯（特に立ヶ鼻周辺）
- 5 所有者の名称 長野県上水内郡信濃町大字柏原 428-2 信濃町
- 6 管理者の名称 同上

7 現状

1948年に野尻湖の西側湖岸から発見された1つのゾウの臼歯の化石をきっかけに、野尻湖岸の動物化石は多くの人びとの関心を集め、1962年からは野尻湖発掘調査団によって市民参加型の発掘が組織された。開始から半世紀を経た今日も継続され、2014年春には第20次発掘を迎えた。これらの発掘によって得られた化石の全ては、1984年に開館した野尻湖ナウマンゾウ博物館に収蔵されており、そのうち多くは常設展示で公開されている。同館は野尻湖発掘調査団とは別の組織だが、開館以来、積極的に野尻湖発掘に関わり、その出土品や調査成果を適切に保存・管理している。同時にこの地域の考古学・歴史学に関する教育・研究センターとしても機能している。

8 指定理由および根拠

長野県宝等の指定等に関する基準
第8 長野県天然記念物の指定基準
(3) 地質鉱物 カ標本

(1) 指定理由

当該標本は、野尻湖の西岸に分布する野尻湖層から産出した大型哺乳類化石88点であり、その内訳はナウマンゾウ 63点、ヤベオオツノジカ 22点、ヘラジカ 3点である。これらは、40年以上継続された発掘調査で得られた膨大な産出化石の内から、化石動物の特徴をよく体現する化石標本として選出されたもので、約7万年前から1.5万年前まで続いた氷期（最終氷期）に日本列島に生息していた大型哺乳動物の様子を今に伝える資料として大変貴重なものである。特に、最大規模の切歯（牙）、複数の頭蓋骨、多数の臼歯化石などは特筆に値する。この化石動物群は、ほぼ4.8万年前～3.8万年前に集中し、氷期のなかでもやや暖かい時期にあたるものであり、その温暖な環境が標高650mほどの野尻湖周辺にこれらの動物群が集まってくることの背景にあると推定される。最終氷期における日本列島の動物相を記録したものとして、高い学術的価値がある。

特に化石が多産するナウマンゾウ (*Palaeoloxodon naumani*) についてみると、更新世中期後半から末期にかけて（約30万年前～2万年前）栄えたエレファス科の1種で、日本列島では200ヶ所

以上の産出があり、体高（肩高）2～2.7mで日本列島周辺でもっとも栄えたゾウである。しかし、野尻湖産の化石群のように多数の個体群が同一層準から産出することは稀であり、個体差や群集内の変異を解明する上で重要な資料である。また、ナウマンゾウの産出としてはその最後に近い時代を代表する化石群であり、本種の進化史を解明するうえでも貴重である。

ナウマンゾウと共存した動物群には、今回同時に天然記念物の指定を行うヤベオオツノジカやヘラジカのほか、クマや水鳥の化石も発見されており、最終氷期の日本列島を代表する動物群としての学術的価値も高い。長野県の天然記念物に相応しい標本と考えられる。

(2) 類似物件

ナウマンゾウは北海道から沖縄まで、多数の地域で発見されており、その内、文化財に指定されているものもあるが、長野県では指定物件はない。

長野県内から産出した長鼻類化石で、県の天然記念物に指定されたものには以下のものがあるが、それぞれに異なる価値を表しており本件との重複はない。

- 1) 戸隠川下のシンシュウゾウ化石 (*Stegodon miensis*) : 約300万年前のステゴドン属の上顎の付着した頭骨化石。平成6年に県天然記念物に指定。現在ではミエゾウのシノニムとされている。
- 2) 佐久市 ^{ウスダ} 臼田トンネル産古型マンモス化石 : ^{コケイ} 臼歯と切歯の破片からなる標本群。約100万年前の古いタイプのマンモスゾウ (*Mammuthus trogontherii*) である。平成24年に県天然記念物に指定。

(3) 保存の要件

今回指定を申請した88点の化石資料は、いずれも同博物館の収蔵庫または展示室に保管されており、一部は常設的な展示に供されている。そのため、指定にあたって特別な保存の措置は必要がない。

9 調査年月日

平成25年10月18日

10 調査者氏名

公文富士夫、遠藤 公洋

11 調査票作成年月日

平成26年8月27日 公文富士夫

12 参考資料

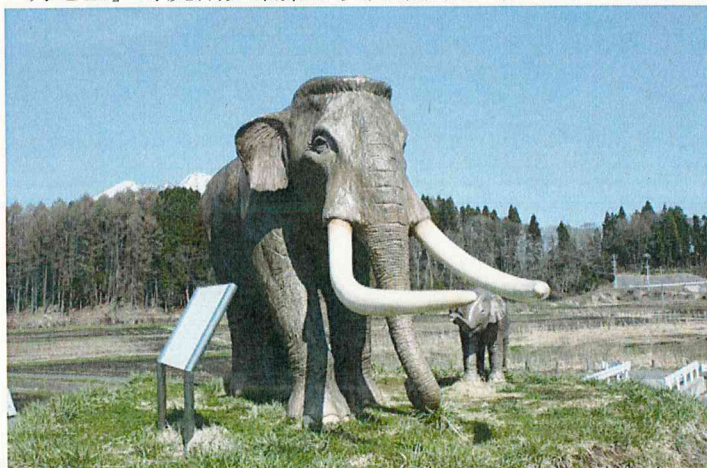
- 1) 信濃町 野尻湖産大型哺乳動物化石類標本リスト (写真付き) (15p.)
- 2) 信濃町 野尻湖産大型哺乳動物化石類産出資料 (5p.)



ナウマンゾウ左上顎第3大白歯（1号臼歯）（リスト015）平成6年6月9日 信濃町天然記念物に指定
信濃町教育委員会撮影



「月と星」野尻湖発掘第5次発掘出土（リストの003と064） 野尻湖発掘調査団撮影



ナウマンゾウ復元像（親子ゾウ）国道沿 ヤベオオツノジカ復元像 展示室 信濃町教育委員会撮影

資料1 化石産出地と保管場所の位置1 (1/50,000)



1 : 50,000

0 1000 2000

信濃町 野尻湖産大型哺乳類化石リスト 1

信濃町教育委員会

ID 001
種別 ナウマンゾウ
名称 頭蓋骨
図版など 図版V.1
備考
発掘年 1978
発掘次 第07次
産出層 立が鼻砂部層T4
標本番号 7NIII27-2
保管場所 収蔵庫

申請理由 ナウマンゾウの特徴は頭蓋骨に最もよくあらわれており、その特徴が良く見られる貴重な標本



ID 002
種別 ナウマンゾウ
名称 頭蓋骨
図版など 図版1.1
備考
発掘年 1981
発掘次 第08次
産出層 立が鼻砂部層T4
標本番号 8NIIIY12-32
保管場所 展示室

申請理由 ナウマンゾウの特徴は頭蓋骨に最もよくあらわれており、その特徴が良く見られる貴重な標本



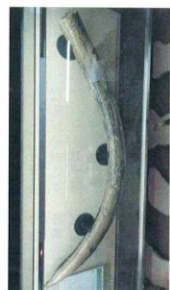
ID 003
種別 ナウマンゾウ
名称 左切歯
図版など 図版18.2
備考 「月と星」の月
発掘年 1973
発掘次 第05次
産出層 立が鼻砂部層T3
標本番号 8NIII X3-1 5552
保管場所 展示室

申請理由 切歯はナウマンゾウの特徴をよく表わすが、それがわかる重要な標本



ID 004
種別 ナウマンゾウ
名称 左切歯
図版など 図版11-1.1
備考
発掘年 1981
発掘次 第08次
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 8NIII G22-13
保管場所 展示A-2

申請理由 日本で最も大きい切歯の1つ、切歯はナウマンゾウの特徴がよく表わすが、それがわかる重要な標本



ID 005
種別 ナウマンゾウ
名称 左切歯
図版など 図版10-II.5
備考
発掘年 1984
発掘次 第09次
産出層 立が鼻砂部層T5
標本番号 9N I C11-17
保管場所 展示A-7

申請理由 犬の切歯と推定されている標本、切歯はナウマンゾウの性差がよく表わすが、それがわかる重要な標本



ID 006
種別 ナウマンゾウ
名称 左下顎第2乳臼歯
図版など 図版10-I.9.10
備考
発掘年 1984
発掘次 第09次
産出層 立が鼻砂部層T7
標本番号 9N I G9-23
保管場所 展示A-4

申請理由 ナウマンゾウの臼歯の乳歯列における特徴を表す重要な標本



信濃町 野尻湖産大型哺乳類化石リスト 2

信濃町教育委員会

ID 007
種別 ナウマンゾウ
名称 第3乳臼歯
図版など 図版III.1
備考
発掘年 1978
発掘次 第07次
産出層 立が鼻砂部層T4
標本番号 7NIII D19-7
保管場所 展示A-4

申請理由 ナウマンゾウの臼歯の乳歯列における特徴を表す重要な標本



ID 008
種別 ナウマンゾウ
名称 右下顎第1大臼歯
図版など 図版II.7.8.9
備考
発掘年 1975
発掘次 第06次
産出層 立が鼻砂部層T1~T2
標本番号 6NIII W3-17
保管場所 展示A-4

申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本



ID 009
種別 ナウマンゾウ
名称 左下顎第1大臼歯
図版など 図版II.9.10.11
備考
発掘年 1990
発掘次 第11次
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 11NIII H5-19
保管場所 収蔵庫

申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本



ID 010
種別 ナウマンゾウ
名称 左上顎第1または第2大臼歯
図版など 図版III.6.7.8.9.10
備考 脱臼歯
発掘年 1975
発掘次 第06次
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 6NIII X5-11
保管場所 展示A-4

申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本



ID 011
種別 ナウマンゾウ
名称 右上顎第2大臼歯
図版など なし
備考
発掘年 1978
発掘次 第07次
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 7NIII Z9-21
保管場所 展示A-4

申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本



ID 012
種別 ナウマンゾウ
名称 右上顎第2大臼歯
図版など 図版10-I.11.12
備考
発掘年 1984
発掘次 第09次
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 9NIII Q14-36
保管場所 展示A-4

申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本



ID	013	出典	野尻湖博研究報告11号,2003
種別	ナウマンゾウ		
名称	左下顎第2大白歯	図版など	図版 1.7,8,9
備考			
発掘年	2000	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	第14次		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	14NIII22-1		
保管場所	収蔵庫石膏棚		



ID	014	出典	野尻湖博研究報告11号,2003
種別	ナウマンゾウ		
名称	右下顎第2大白歯	図版など	図版 1.10,11,12
備考			
発掘年	2000	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	第14次		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	14NIIID21-10		
保管場所	収蔵庫石膏棚		



ID	015	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	ナウマンゾウ		
名称	左上顎第3大白歯	図版など	図版12,3 図版13,3
備考			【信濃町天然記念物「ナウマンゾウの1号臼歯」】
発掘年	1948	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	表面採集		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	0001		
保管場所	展示室		



ID	016	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	右上顎第3大白歯	図版など	なし
備考			
発掘年	1974	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	湖底地質調査		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	74試B-1		
保管場所	展示A-4		



ID	017	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	ナウマンゾウ		
名称	左下顎第3大白歯	図版など	図版14,5 図版16,2
備考			
発掘年	1973	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	第05次		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	5NIII2-10 5495		
保管場所	展示A-4		



ID	018	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	右上顎第3大白歯	図版など	図版 1.1,2,3
備考			
発掘年	1978	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	第07次		
産出層準	立が鼻砂部層T7		
標本番号	7NIII10-5		
保管場所	展示A-4		



ID	019	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	左上顎第3大白歯	図版など	なし
備考			
発掘年	1978	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	第07次		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	7NIII14-9		
保管場所	展示A-4		



ID	020	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	右下顎第3大白歯	図版など	図版 1.4,5,6
備考			
発掘年	1978	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	第07次		
産出層準	立が鼻砂部層T7		
標本番号	7NIII14-31		
保管場所	展示A-4		



ID	021	出典	専報27,野尻湖の発掘3
種別	ナウマンゾウ		
名称	右上顎第3大白歯	図版など	図版 1.2,3,4
備考			
発掘年	1981	申請理由	ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本
発掘次	第08次		
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	8NIII12-7		
保管場所	展示A-4		



ID	022	出典	専報32,野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ		
名称	脱着歯	図版など	図版10-1.1,2
備考			
発掘年	1984	申請理由	ナウマンゾウの脱着歯の特徴がわかる貴重な標本
発掘次	第09次		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	9NIIIQ15-47		
保管場所	展示A-4		



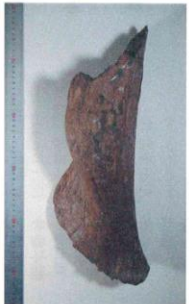
ID	023	出典	専報32,野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ		
名称	脱着歯	図版など	図版10-1.3,4
備考			
発掘年	1984	申請理由	ナウマンゾウの脱着歯の特徴がわかる貴重な標本
発掘次	第09次		
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	9NIIIQ18-17		
保管場所	展示A-4		



ID	024	出典	専報32,野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ		
名称	脱着歯	図版など	図版10-1.7,8
備考			
発掘年	1984	申請理由	ナウマンゾウの脱着歯の特徴がわかる貴重な標本
発掘次	第09次		
産出層準	立が鼻砂部層T7		
標本番号	9NIIIQ19-20		
保管場所	展示A-4		



ID	025	出典	野尻湖博物館研究報告1号_1983
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版IV-1,2,3,4
名称	右上腕骨	備考	
発掘年	1990	申請理由	野尻湖層中で最も古いナウマンゾウ化石
発掘次	第11次		
産出層準	海端砂層T1		
産出層準	立石鼻砂層U2		
標本番号	IN3M17-12		
保管場所	収蔵庫		



ID	026	出典	野尻湖ナウマンゾウ博物館研究報告8号_2000
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版1-1,2
名称	右上腕骨	備考	
発掘年	1997	申請理由	野尻湖層中で最も新しいナウマンゾウ化石
発掘次	第13次		
産出層準	立石鼻砂層T7		
産出層準	立石鼻砂層T13-1		
標本番号	IN3M17-1		
保管場所	収蔵庫		



ID	027	出典	専報32_野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版10-IV_1
名称	右肩甲骨	備考	
発掘年	1984	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第9次		
産出層準	立石鼻砂層T4		
産出層準	立石鼻砂層T14		
標本番号	9N1E8-11		
保管場所	展示室		



ID	028	出典	専報32_野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版10-IV_4,5
名称	左月状骨	備考	
発掘年	1984	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第9次		
産出層準	立石鼻砂層T4		
産出層準	立石鼻砂層T14		
標本番号	9N1E8-10		
保管場所	収蔵庫 手掛02		



ID	029	出典	地質学論集_専報32_野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ	図版など	なし
名称	左三角骨	備考	
発掘年	1975	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第6次		
産出層準	立石鼻砂層T5		
産出層準	立石鼻砂層T15		
標本番号	6N1F6-5		
保管場所	収蔵庫 手掛01		



ID	030	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ	図版など	なし
名称	右三角骨	備考	
発掘年	1978	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第7次		
産出層準	立石鼻砂層T2		
産出層準	立石鼻砂層T12		
標本番号	7NMD14-43		
保管場所	収蔵庫 手掛01		



ID	031	出典	地質学論集_専報32_野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ	図版など	なし
名称	左小菱形骨	備考	図版2,3と
発掘年	1975	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第6次		
産出層準	立石鼻砂層T4		
産出層準	立石鼻砂層T14		
標本番号	6N1D7-11		
保管場所	収蔵庫 手掛01		



ID	032	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ	図版など	なし
名称	右小菱形骨	備考	
発掘年	1975	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第6次		
産出層準	立石鼻砂層T4		
産出層準	立石鼻砂層T14		
標本番号	6N1E7-7		
保管場所	収蔵庫 06-06		



ID	033	出典	専報32_野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版10-IV_4,5
名称	左大菱形骨	備考	
発掘年	1984	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第9次		
産出層準	立石鼻砂層T4		
産出層準	立石鼻砂層T14		
標本番号	9N1E7-11		
保管場所	収蔵庫 手掛01		



ID	034	出典	地質学論集_専報32_野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版1Ⅱ_5,6,7
名称	左有頭骨	備考	図版1,3と
発掘年	1975	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第6次		
産出層準	立石鼻砂層T4		
産出層準	立石鼻砂層T14		
標本番号	6N1D9-16		
保管場所	収蔵庫 手掛01		



ID	035	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ	図版など	なし
名称	左有鈎骨	備考	
発掘年	1973	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第5次		
産出層準	立石鼻砂層T6		
産出層準	立石鼻砂層T16		
標本番号	5N1D5-2		
保管場所	収蔵庫 05-04		



ID	036	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版1Ⅱ_1,2,3
名称	左有鈎骨	備考	図版1,2と
発掘年	1975	申請理由	スケージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第6次		
産出層準	立石鼻砂層T4		
産出層準	立石鼻砂層T14		
標本番号	6N1D9-5		
保管場所	収蔵庫 手掛01		



ID 037
種別 ナウマンゾウ
名称 右有脚骨
図版など なし
備考
発掘年 1975
産出層 立が鼻砂部層T7
標本番号 6N1B7-1
保管場所 収蔵庫 06-06

出典 地質学論集

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 038
種別 ナウマンゾウ
名称 右第3中手骨
図版など なし
備考 1987に左第3中手骨と訂正
発掘年 1973
産出層 立が鼻砂部層T4
標本番号 SN1A9-20
保管場所 収蔵庫 05-08

出典 地質学論集, 専報32 野尻湖の発掘4

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 039
種別 ナウマンゾウ
名称 右大腿骨
図版など 図版IX.3.4.5
備考
発掘年 1975
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 6NIII10-18
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 040
種別 ナウマンゾウ
名称 左大腿骨
図版など 図版X.1.2
備考
発掘年 1975
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 6NIII12-12
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 041
種別 ナウマンゾウ
名称 右腓骨
図版など 図版X.3.4
備考
発掘年 1975
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 6NIII14-6
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 042
種別 ナウマンゾウ
名称 左膝蓋骨
図版など 図版X.5.6
備考
発掘年 1975
産出層 立が鼻砂部層T2
標本番号 6NIII85-1
保管場所 収蔵庫 6-20箱

出典 地質学論集

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 043
種別 ナウマンゾウ
名称 探椎
図版など
備考
発掘年 1965
産出層 第04次
標本番号 4085
保管場所 展示A-7

出典 野尻湖の発掘1,1975

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 044
種別 ナウマンゾウ
名称 軸椎
図版など
備考
発掘年 1965
産出層 第04次
標本番号 4064
保管場所 展示A-7

出典 野尻湖の発掘1,1975

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 045
種別 ナウマンゾウ
名称 第1または15胸椎
図版など 図版10-III.1.2
備考
発掘年 1984
産出層 第09次
立が鼻砂部層T2
標本番号 9NIIIQ2-16
保管場所 展示A-7

出典 専報32 野尻湖の発掘4

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 046
種別 ナウマンゾウ
名称 第6または7胸椎
図版など なし
備考
発掘年 1975
産出層 第06次
立が鼻砂部層T4
標本番号 6N1F7-3
保管場所 収蔵庫 06-06

出典 地質学論集

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 047
種別 ナウマンゾウ
名称 第6~9胸椎
図版など 図版10-III.3.4
備考
発掘年 1984
産出層 第09次
海澄砂ソルト部層U3
標本番号 9NIII426-2
保管場所 収蔵庫 09-15

出典 専報32 野尻湖の発掘4

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 048
種別 ナウマンゾウ
名称 第10または11胸椎
図版など なし
備考
発掘年 1974
産出層 湖底地質調査
立が鼻砂部層T2
標本番号 74II4-5
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集

申請理由 スターゲルにおけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID	049	出典	専報37,野尻湖の発掘5
種別	ナウマンゾウ		
名称	第14胸椎	図版など	図版11-II.1.2
発掘年	1987	備考	
発掘次	第10次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	10N I B9-2		
保管場所	展示A-7		



ID	050	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	第16胸椎	図版など	図版VI.1.2.3
発掘年	1975	備考	
発掘次	第06次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	6N I B8-15		
保管場所	展示A-7		



ID	051	出典	専報37,野尻湖の発掘5
種別	ナウマンゾウ		
名称	第1腰椎	図版など	図版11-II.5.6
発掘年	1987	備考	
発掘次	第10次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T2		
標本番号	10N III E16-3		
保管場所	展示A-7		



ID	052	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	第3腰椎	図版など	図版VI.4.5.6
発掘年	1978	備考	
発掘次	第07次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	7N III Z12-20		
保管場所	展示A-7		



ID	053	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	ナウマンゾウ		
名称	右第3肋骨	図版など	
発掘年	1973	備考	
発掘次	第05次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	5N I A9-14 5074		
保管場所	展示A-7		



ID	054	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	右第4肋骨	図版など	図版VI.3.4
発掘年	1975	備考	
発掘次	第06次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	6N I B9-39		
保管場所	展示A-7		



ID	055	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	左第6肋骨	図版など	なし
発掘年	1975	備考	
発掘次	第06次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	6N I D9-8		
保管場所	収蔵庫 棚		



ID	056	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	左第9肋骨(前後)	図版など	図版VII.1.6
発掘年	1978	備考	
発掘次	第07次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	7N I C9-2		
保管場所	収蔵庫 棚		



ID	057	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ		
名称	右第12(2)肋骨	図版など	図版VII.2.5
発掘年	1975	備考	
発掘次	第06次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	6N I B8-19		
保管場所	展示A-7		



ID	058	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	ナウマンゾウ		
名称	左第13肋骨	図版など	
発掘年	1973	備考	
発掘次	第05次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	5N I A8-9 5057		
保管場所	展示A-7		



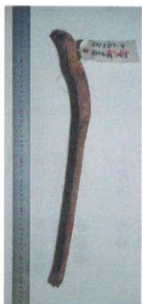
ID	059	出典	専報37,野尻湖の発掘5
種別	ナウマンゾウ		
名称	左第15または16肋骨	図版など	図版11-II.9
発掘年	1987	備考	
発掘次	第10次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	10N I C8-3		
保管場所	展示A-7		



ID	060	出典	専報37,野尻湖の発掘5
種別	ナウマンゾウ		
名称	左第17または18肋骨	図版など	図版11-II.10
発掘年	1987	備考	
発掘次	第10次	申請理由	ステーション3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準	立が鼻砂部層T4		
標本番号	10N I C9-3		
保管場所	収蔵庫 棚		



ID 061
種別 ナウマンゾウ
名称 右第19肋骨
出版 地質学論集
図版など なし
備考
発掘年 1975
発掘次 第06次
申請理由 マンモス群におけるナウマンゾウの体枝骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T4
標本番号 SN I D7-9
保管場所 展示A-7



ID 062
種別 ナウマンゾウ
名称 左掌状舌骨
出版 地質学論集
図版など なし
備考
発掘年 1973
発掘次 第05次
申請理由 舌骨はゾウの種によって変異が大きく、それを解明する貴重な標本
産出層準 立が鼻砂部層T4
標本番号 SN I C9-13
保管場所 収蔵庫



ID 063
種別 ナウマンゾウ
名称 下顎骨
出版 専報32 野尻湖の発掘4
図版など 図版10- II.7.8
備考
発掘年 1984
発掘次 第09次
申請理由 ナウマンゾウの下顎骨の形態がわかる重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T4
標本番号 SN III Q17-37
保管場所 展示A-7



ID 064
種別 ヤベオオツノジカ
名称 掌状角
出版 野尻湖の発掘1975
図版など 図版19
備考 「月と星」の星
発掘年 1973
発掘次 第05次
申請理由 ヤベオオツノジカの特徴は掌状角の形態にあり、その特徴が完全に近い形で保存されている標本
産出層準 立が鼻砂部層T3
標本番号 SN III X3-2 5533
保管場所 収蔵庫 棚



ID 065
種別 ヤベオオツノジカ
名称 右角座、角幹
出版 専報27 野尻湖の発掘3
図版など 図版12- I.1.2,3,4
備考 野尻湖A標本
発掘年 1981
発掘次 第08次
申請理由 ヤベオオツノジカを特徴づける角を復元するために重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T2
標本番号 SN III G22-12
保管場所 展示室



ID 066
種別 ヤベオオツノジカ
名称 右角座、角幹
出版 専報27 野尻湖の発掘3
図版など 図版12- II.1.2,3,4
備考 野尻湖B標本
発掘年 1981
発掘次 第08次
申請理由 ヤベオオツノジカを特徴づける角を復元するために重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T1
標本番号 SN III U16-29
保管場所 収蔵庫 sy角座骨



ID 067
種別 ヤベオオツノジカ
名称 左角
出版 専報32 野尻湖の発掘4
図版など 図版10-V.6
備考
発掘年 1984
発掘次 第09次
申請理由 ヤベオオツノジカを特徴づける角を復元するために重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T2
標本番号 SN I A12-4
保管場所 展示室



ID 068
種別 ヤベオオツノジカ
名称 右角
出版 専報32 野尻湖の発掘4
図版など 図版10-V.7
備考
発掘年 1984
発掘次 第09次
申請理由 ヤベオオツノジカを特徴づける角を復元するために重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T2
標本番号 SN I A12-2
保管場所 展示室



ID 069
種別 ヤベオオツノジカ
名称 左胃枝
出版 専報32 野尻湖の発掘4
図版など 図版10-V.9
備考
発掘年 1984
発掘次 第09次
申請理由 ヤベオオツノジカを特徴づける角を復元するために重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T2
標本番号 SN I A12-3
保管場所 展示室



ID 070
種別 ヤベオオツノジカ
名称 頂骨の頂頂部
出版 専報37 野尻湖の発掘5
図版など 図版11-IV.1.2
備考
発掘年 1987
発掘次 第10次
申請理由 ヤベオオツノジカの頂蓋骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T2
標本番号 10N III 123-15
保管場所 収蔵庫 sy-04



ID 071
種別 ヤベオオツノジカ
名称 後頭骨底部
出版 野尻湖博研究報告4号.1996
図版など 図版 III.2
備考
発掘年 1993
発掘次 第12次
申請理由 ヤベオオツノジカの後頭骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
産出層準 立が鼻砂部層T2
標本番号 12N III Y3-25
保管場所 収蔵庫 sy-03



ID 072
種別 ヤベオオツノジカ
名称 右下顎第1切歯
出版 地質学論集
図版など 図版 II.9.10
備考
発掘年 1975
発掘次 第06次
申請理由 ヤベオオツノジカの切歯は今までほとんど発見されていない、種の特徴を表わす貴重な標本
産出層準 立が鼻砂部層T1~T2
標本番号 6N III R6-3
保管場所 展示室



ID	073	種別	ヤベオオツノジカ	出典	野尻湖博物館研究報告16号,2008
種別	右・下顎第1切歯	図版など	図版 1.4,5	備考	
発掘年	2006	申請理由	ヤベオオツノジカの咀嚼は今までほとんど発見されてこなかった。種の特徴を表わす貴重な標本		
発掘次	第16次				
産出層	立が鼻砂部層T2				
標本番号	16NIII-F18-23				
保管場所	収蔵庫 16-01				



ID	074	種別	ヤベオオツノジカ	出典	専報32,野尻湖の発掘1
種別	左上顎第3乳臼歯	図版など	図版10-V.1,2	備考	
発掘年	1984	申請理由	ヤベオオツノジカの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本		
発掘次	第09次				
産出層	立が鼻砂部層T4				
標本番号	9N1 E8-14				
保管場所	収蔵庫 sy-24				



ID	075	種別	ヤベオオツノジカ	出典	専報37,野尻湖の発掘5
種別	左上顎第3大臼歯	図版など	図版11-IV.3,4	備考	
発掘年	1987	申請理由	ヤベオオツノジカの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本		
発掘次	第10次				
産出層	立が鼻砂部層T2				
標本番号	10NIII-E5-27				
保管場所	収蔵庫 sy-12				



ID	076	種別	ヤベオオツノジカ	出典	地質学論集
種別	左上顎骨	図版など	図版 II.6	備考	
発掘年	1978	申請理由	ヤベオオツノジカの上・下顎臼歯及び上・下顎骨の形態的特徴がわかる重要な標本		
発掘次	第07次				
産出層	立が鼻砂部層T1~T2				
標本番号	7NIII-W2-11				
保管場所	展示室				



ID	077	種別	ヤベオオツノジカ	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	左下顎骨	図版など	図11-5	備考	不完全なMI~M3
発掘年	1973	申請理由	ヤベオオツノジカの臼歯・下顎骨の特徴をよく表わす重要な標本		
発掘次	第05次				
産出層	立が鼻砂部層T1				
標本番号	5NIII-VI-5 5515				
保管場所	収蔵庫 sy-11				



ID	078	種別	ヤベオオツノジカ	出典	地質学論集
種別	左下顎骨	図版など	図版 II.7,8	備考	
発掘年	1978	申請理由	ヤベオオツノジカの上・下顎臼歯及び上・下顎骨の形態的特徴がわかる重要な標本		
発掘次	第07次				
産出層	立が鼻砂部層T7				
標本番号	7NIII-M23-10				
保管場所	展示室				



ID	079	種別	ヤベオオツノジカ	出典	専報37,野尻湖の発掘5
種別	右下顎骨	図版など	図版11-IV.6,7	備考	
発掘年	1987	申請理由	ヤベオオツノジカの上・下顎臼歯及び上・下顎骨の形態的特徴がわかる重要な標本		
発掘次	第10次				
産出層	立が鼻砂部層T7				
標本番号	10NIII-L21-4				
保管場所	収蔵庫 sy-24				



ID	080	種別	ヤベオオツノジカ	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	軸椎	図版など	図11-7	備考	
発掘年	1973	申請理由	ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本		
発掘次	第05次				
産出層	立が鼻砂部層T7				
標本番号	5N1 D9-1 5252				
保管場所	収蔵庫 sy-22				



ID	081	種別	ヤベオオツノジカ	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	腰椎	図版など	図11-6	備考	
発掘年	1984	申請理由	ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本		
発掘次	第09次				
産出層	立が鼻砂部層T7				
標本番号	9N1 G7-4				
保管場所	収蔵庫 sy-22				



ID	082	種別	ヤベオオツノジカ	出典	野尻湖の発掘,1975
種別	右肩甲骨	図版など	図11-6	備考	
発掘年	1973	申請理由	ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本		
発掘次	第05次				
産出層	立が鼻砂部層T7				
標本番号	5N1 C9-2 5181				
保管場所	展示室				



ID	083	種別	ヤベオオツノジカ	出典	地質学論集
種別	右踵骨	図版など	図版IV.4,5	備考	
発掘年	1975	申請理由	ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本		
発掘次	第06次				
産出層	立が鼻砂部層T1~T2				
標本番号	6NIII-T9-23				
保管場所	展示室 B-3				



ID	084	種別	ヤベオオツノジカ	出典	地質学論集
種別	左踵骨	図版など	図版IV.1,2,3	備考	
発掘年	1978	申請理由	ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本		
発掘次	第07次				
産出層	立が鼻砂部層T7				
標本番号	7NIII-S17-21				
保管場所	展示室				



ID 085
 種別 ヤマオオツノジカ
 名称 右脛骨
 発掘年 1975
 発掘次 第06次
 産出層準 立が鼻砂部層T7
 標本番号 6NIII19-18
 保管場所 展示室

出典 地質学論集
 図版など 図版III_13.14
 備考
 申請理由 ヤマオオツノジカの体肢骨の形態的特長を解明できる重要な標本



ID 086
 種別 ヘラジカ
 名称 左下顎第2大白歯
 発掘年 2006
 発掘次 第16次
 産出層準 立が鼻砂部層T2
 標本番号 16NIII18-36
 保管場所 収蔵庫

出典
 図版など 図版I_6,7,8
 備考 086, 087, 088の3点は接合する
 申請理由 日本最古のヘラジカ化石で、日本の最終氷期の動物相を解明する上で極めて重要な標本



ID 087
 種別 ヘラジカ
 名称 左下顎骨片(第3大白歯が概立)
 発掘年 2008
 発掘次 第17次
 産出層準 立が鼻砂部層T3
 標本番号 17NIII18-2
 保管場所 収蔵庫

出典 野尻湖博研発掘報告18号、2010、野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号
 図版など 図版II_1,2,3
 備考 086, 087, 088の3点は接合する
 申請理由 日本最古のヘラジカ化石で、日本の最終氷期の動物相を解明する上で極めて重要な標本



ID 088
 種別 ヘラジカ
 名称 左下顎骨
 発掘年 1987
 発掘次 第10次
 産出層準 立が鼻砂部層T2
 標本番号 10NIII17-88
 保管場所 収蔵庫

出典 野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号
 図版など 086, 087, 088の3点は接合する
 備考
 申請理由 日本最古のヘラジカ化石で、日本の最終氷期の動物相を解明する上で極めて重要な標本

